

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ビルタサ懸濁用散分包 8.4g	市販直後調査 2025年3月～2025年9月
(英名)	Patiromer Sorbitex Calcium	
(規格・含有量)	1包中 パチロマーソルビテクスカルシウムをパチロマーとして8.4g含有	
(一般名)	パチロマーソルビテクスカルシウム	
(メーカー名)	ゼリア新薬	
【薬価収載日】	2024年11月	
【薬価】	1包 949.50円	
【薬効コード】	219	
【薬効分類名】	高カリウム血症改善剤	
【効能・効果】	高カリウム血症	
【用法・用量】	通常、成人には、パチロマーとして8.4gを開始用量とし、水で懸濁して、1日1回経口投与する。以後、血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回25.2gとする。	

(薬品名)	イノソリッド配合経腸用半固形剤	
(組成)	1袋(300g)中 たん白質 13.50g、脂質 8.34g、炭水化物 44.25g、その他に電解質、微量元素およびビタミン類を成分とする	
(メーカー名)	大塚	
【薬価収載日】	2024年11月	
【薬価】	10g 14.40円	
【薬効コード】	3259	
【薬効分類名】	たん白アミノ酸製剤 経腸栄養剤	
【効能・効果】	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。	
【用法・用量】	通常、成人標準量として1日900～1,500g(900～1,500kcal)を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～4分(300g当たり6～12分)とし、1回の最大投与量は600gとする。 また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。 なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

削除医薬品通知

ラコール NF 配合経腸用半固形剤

7/1 削除

剤形変更医薬品通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>7/1 変更</u> アイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL バビースモ硝子体内注射用キット 120mg/mL	アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL バビースモ硝子体内注射液 120mg/mL

販売中止により今後欠品となる薬品

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>在庫消尽後</u> ロサルタン K 錠 25mg「DSEP」	ロサルタンカリウム錠 25mg「DK」

自主回収による薬品変更

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>6/13 変更済み(※規格違い)</u> トブラシン注 60mg	トブラシン注 90mg

出荷停止により今後欠品となる薬品

エリスロシン錠 200mg

供給不足により今後欠品の恐れがある薬品

エリスロシンドライシロップ 10%
ガナトン錠 50mg
炭酸水素ナトリウム錠 500mg「VTRS」

供給再開によるオーダー再開について

ケフラルカプセル 250mg

7/1 再開

※供給量が少ないため、必要最小限のご使用にとどめて頂くようお願いいたします。

安定供給となった薬品

バル筋注 100mg「AFP」

適応追加通知

リアルダ錠 1200mg	<p>【効能・効果】</p> <p>潰瘍性大腸炎(重症を除く)</p> <p>【用法・用量】</p> <p>通常、成人にはメサラジンとして1日1回2,400mgを食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして1日1回4,800mgを食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>通常、体重23kg超の小児にはメサラジンとして1日1回40mg/kgを食後経口投与するが、2,400mgを上限とする。活動期は、通常、体重23kg超の小児にはメサラジンとして1日1回80mg/kgを食後経口投与するが、4,800mgを上限とし、患者の状態により適宜減量する。</p>
ダルベポエチンアルファ注 30 μ g シリンジ「KKF」 60 μ g シリンジ「KKF」 120 μ g シリンジ「KKF」 180 μ g シリンジ「KKF」	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○腎性貧血 ○骨髄異形成症候群に伴う貧血 ○ベルズチファン投与に伴う貧血 <p>【用法・用量】</p> <p>〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉</p> <p>通常、成人にはダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)として、1回360μgを3週間以上の間隔をあけて皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>〈他〉省略</p>
オプジーボ点滴静注 20mg 120mg 240mg	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○悪性黒色腫 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○非小細胞肺癌における術前補助療法 ○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 ○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 ○治癒切除不能な進行・再発の胃癌 ○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 ○悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く) ○がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 ○根治切除不能な進行・再発の食道癌 ○食道癌における術後補助療法 ○原発不明癌 ○尿路上皮癌における術後補助療法 ○根治切除不能な尿路上皮癌

	<p>○根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍</p> <p>○切除不能な肝細胞癌</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈切除不能な肝細胞癌〉</p> <p>イピリムマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回 80mg を3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回 240mg を2週間間隔又は1回 480mg を4週間間隔で点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>ヤーボイ点滴静注液 50mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○根治切除不能な悪性黒色腫</p> <p>○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌</p> <p>○がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌</p> <p>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫</p> <p>○根治切除不能な進行・再発の食道癌</p> <p>○切除不能な肝細胞癌</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈切除不能な肝細胞癌〉</p> <p>ニボルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはイピリムマブ(遺伝子組換え)として1回 3mg/kg(体重)を3週間間隔で4回点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>